

# 長野県飯山市における モデル事業(市町村管理構想)の取組概要

---

- 長野県飯山市は、令和6年度よりモデル事業の取組を開始。令和7年度中の市管理構想策定を目指す。
- 令和5年度改定の国土利用計画では、国際化時代の土地利用や高齢化率の高い地域、クマなどによる獣害等、市土の利用・管理の課題と対応方針を提示。こうした対応方針等の具体的な糸口を市管理構想を通じて検討し、管理構想図により市土管理の見える化を図り、住み続けられるまちづくりの気運を醸す。

## ■対象地域：長野県飯山市

### ■市の概要：

- ・人口等：人口2.0万人（2.1万人）、7.2千世帯（7.4千世帯）  
高齡化率38.2%（34.7%）、年少人口率10.3%（11.3%）（※1）
- ・面積：202.43km<sup>2</sup>（※2）
- ・地形等：飯山市は長野県北部にあり、新潟県と隣接。千曲川沿いに広がる飯山盆地を中心に、東西を山地に挟まれた南北に長い地形で、日本有数の豪雪地帯である。昭和29年に旧飯山町を中心に1町7村が合併し飯山市が誕生。昭和31年に近隣2村を編入し、現在の市域となる。平成27年、北陸新幹線飯山駅が開業。

※1：令和2年国勢調査、（ ）内は平成27年国勢調査

※2：令和6年全国都道府県市区町村別面積調（7月1日時点）

- 検討体制：まちづくり課が主担当となって、庁内プロジェクトチームで検討を推進。なお、喫緊の課題を有する斑尾高原地区及び富倉地区については、地元住民や隣接する妙高市とも連携して取組を進める。

### 【モデル事業の取組の経過】

- ・R6.10月 ●庁内プロジェクトチーム発足
- ・R6.10月 ●オープンデータ及び市保有データの収集、現地調査〈ステップa〉
- ・R7.2月～ ●2地区の現地ヒアリング及び庁内ヒアリングによる課題整理〈ステップb-1〉
- ・R7.4月～ ●庁内ワークショップ〈ステップb-2〉、市管理構想の検討〈ステップc〉



○ 市土の管理のあり方に必要な基礎情報の収集と現地調査を行うとともに、農林業所管課へのヒアリングを通じて、市内の空き家や道路、農地、森林に関する課題を把握した。（ステップ a、b-1）

## ステップa：市土に関する基礎情報による現状把握及び将来予測

### 飯山市第3次国土利用計画で掲げる5つの重点取り組み

#### 1. 国際化時代の土地利用への対応

○ 新型コロナウイルス蔓延により一時減少したが外国人居住者数も復調、観光協会会員数も1/3が外国人となり、土地利用・管理に係るルールの制度化が必要

#### 2. 空き家・空き地増加地域への対応

○ 中山間地域では、高齢化の進展により、ここ数年で空き家が増加  
○ 週末など定期的に近隣市町から営農や住宅管理に通う住宅も散見

#### 3. 農業担い手不足問題と農業生産促進への対応

○ 中山間地域を中心に営農者の高齢化が進展、農業振興地域整備計画の見直し、地域計画の策定を通じて課題解消への糸口を模索中

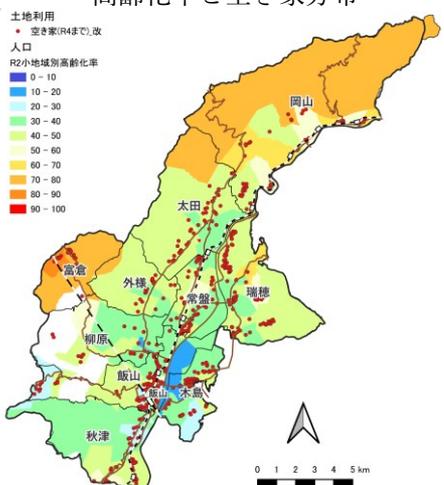
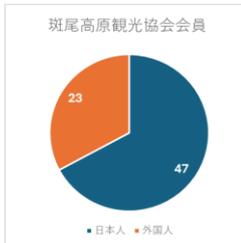
#### 4. 高齢化率の高い地域への対応

○ 中山間地域で超高齢化、人口減少により、農地の荒廃や空き地が増加、存続が危惧される集落も散見

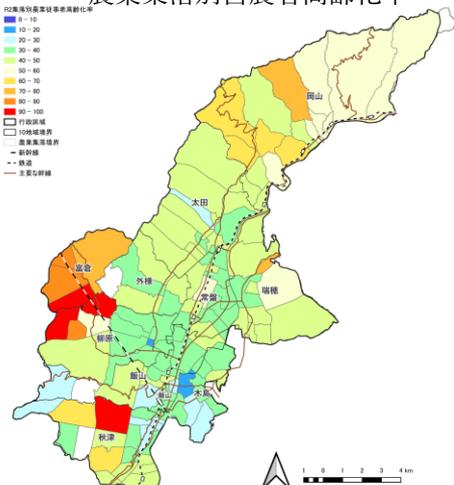
#### 5. クマなどの獣害対策への対応

○ 近年、里山に隣接する集落へ野生獣が出没する件数が増加  
○ 獣害被害が顕著な地区から、森林環境譲与税を活用し緩衝帯整備を実施中

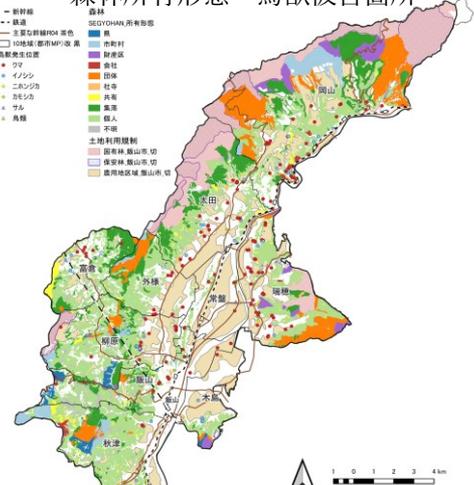
高齢化率と空き家分布



農業集落別営農者高齢化率

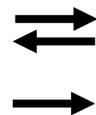


森林所有形態・鳥獣被害箇所



### ステップb-1：対応すべき課題と管理すべきエリアの整理

○ 各種ヒアリングを通じた対応すべき課題を検討

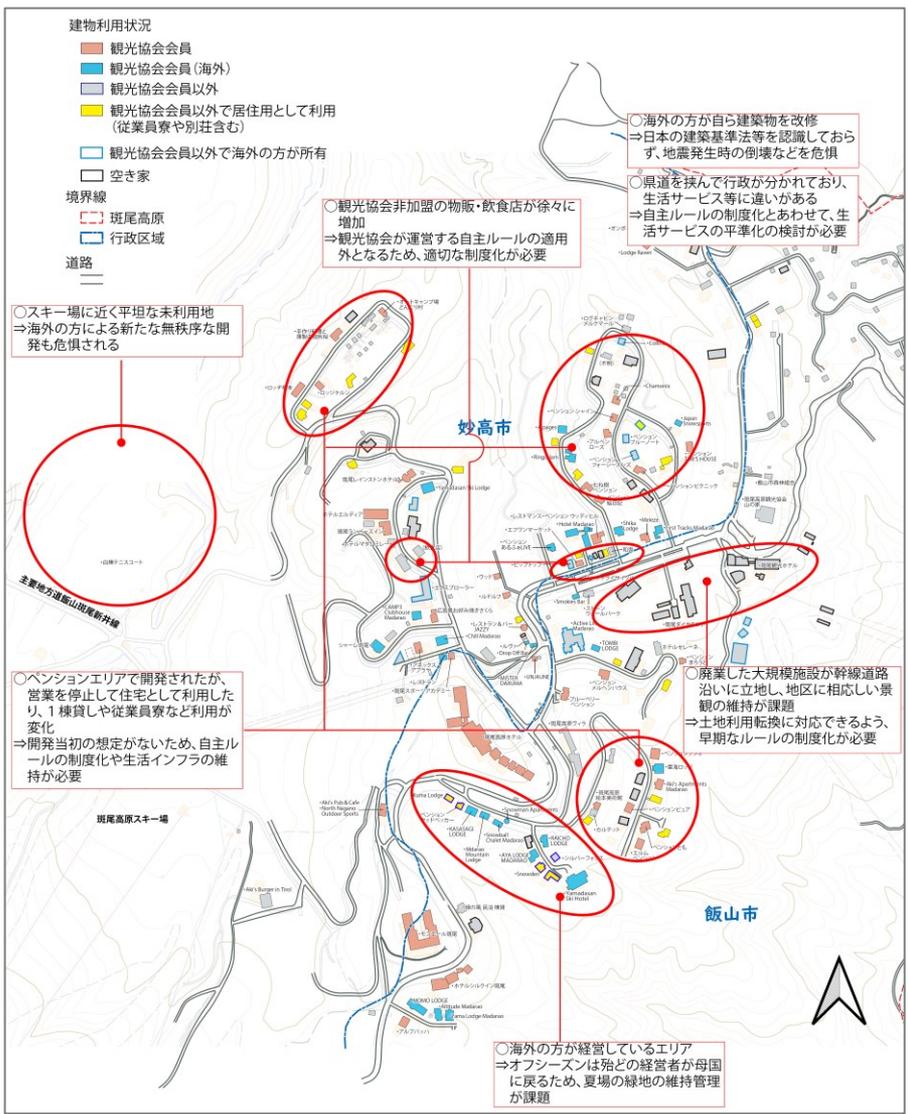


### ステップb-2：庁内意見交換

### ステップc：市管理構想及び管理構想図の検討

○喫緊の課題を有する斑尾高原と富倉の2地区について、住民や関係者へのヒアリングを実施。把握された各地区が抱える課題は以下のとおり。（ステップb-1）

## ■ 斑尾高原地区



## ■ 富倉地区

